

校長室より

「天空高き」



第152号



令和3年12月1日

魂の講演！ーカンボジアでの地雷・不発弾撤去ー

自衛官を定年退職後の2002年から、カンボジアで地雷・不発弾処理活動を行っておられる、高山良二を招いての中学・六年制合同の講演会が11月1日に開催されました。

現在は自ら、NPO法人「国際地雷処理・地域復興支援の会（IMCCD）」を設立され、理事長兼現地代表として74歳の今も、カンボジア王国タボンクモン州議会より、復興担当顧問に任命されて活動されています。



高山先生は、命の危険を冒してまで、地雷や不発弾処理を行う理由をこのように述べられています。

「内戦という状況の中で埋められた地雷は、やはり人間が犯した過ちだと思います。その過ちを子や孫の代まで放置してはならない、人間が犯した過ちは、人間が正さなければならないという思いからだ」と。

また、高山先生が現地で活動を継続していく中で「地雷・不発弾処理活動が最終目的ではない。地域が安全になって、そこに暮らす人達が生活するための地域復興が不可欠である」と、井戸掘削、学校建設、農業や地場産業の支援、日系企業誘致や人材育成支援事業にも取り組んでおられます。その村の人々が平和に暮らせることを最終目標とされています。

講演の最後に、高山先生は生徒に次のような質問をされました。

「あなたは何のために生まれてきたのですか？」「あなたの人生は誰のものですか？」

皆さんはどう答えますか？

高山先生はこのように答えられました。

「先祖に感謝し、次の世代に（この地球の）バトンを渡すため」。

私たちの魂に訴えかける素晴らしい講演でした。

幸せには三種類ある。「してもらう幸せ」「できる幸せ」「してあげる幸せ」

校外学習—今何をすべきか—

11月10日に普通科は校外学習を実施しました。

1年生はインターンシップ、2年生はボランティア活動、3年生は献血と防災センターでの体験学習でした。

1年生のインターンシップの趣旨は、「学校の向こうにある社会」を意識し、高校生の今、何をすべきかを考える、です。

2年生のボランティア活動も3年生の献血も、その活動を通して地域社会の中で生徒の皆さんが、今何ができるのか、何をしなければならないのか、が見えてきます。

皆さんにとって大切なことは、まず行動することです。行動することで、今の自分に何ができ何ができないのか。皆さんが今まで見ていなかったことや新たな発見もあります。行動することで自分がこれから何をしなければいけないのか、自分の未来が見えてくるのではないのでしょうか。



インターンシップ（保育）



献血

ボランティア活動—住みやすい地域社会を創る—

11月6日（土）の午後に、今回節目の10回目となる、付属中「グリーン大作戦」が愛宕福祉協議会のご協力のもとで行われました。

また、10日（水）には普通科2年生の皆さんが、学校～南岩国駅、学校～医療センターの2か所に分かれて、ゴミ拾いと除草をしてくれました。

毎朝、学校から南岩国駅、そして岩国医療センター下の交差点までを巡回していますが、この活動後歩道と道路との間の縁石には、雑草がなく、写真にあるように隅々まで見事に清掃されていました。歩いているだけで、本当に清々しい気分になりました。

人の幸せには3つあると思います。

「する幸せ」「してもらう幸せ」「できる幸せ」。

皆さんは、「する幸せ」と「できる幸せ」を、私は「してもらう幸せ」をいただきました。



私たちの地域を住みやすい社会にするためには、皆さん一人ひとりのボランティア活動がますます大きな役割を担ってきます。あなたの1%を地域社会のために奉仕してください。

じんけんフェスタ 2021 in いわくにー特選作品朗読ー

11月10日(水)、岩国市民会館で「じんけんフェスタ2021 in いわくに」が開催され、応募作品入賞者の表彰式と特選作品の朗読が行われました。

本校からは、六年制普通科1年1組の河村寧音さんが作文部門、六年制普通科1年1組の吉村達也くんが詩部門でそれぞれ特選に選ばれ、多くの出席者の前で堂々と落ち着いた朗読を披露しました。

本校の入賞者をご紹介します。

中学校：標語の部	入選	付属中3年	原野莉歌
作文の部	入選	付属中1年	穂山桃子
高 校：詩の部	特選	六年制1年1組	吉村達也
	入選	普通科1年1組	水津 音
作文の部	特選	六年制1年1組	河村寧音
	入選	六年制1年1組	古川 匠

入賞者のみなさん、おめでとうございます！



高校、詩の部で特選を受賞された吉村達也くんの作品を紹介します。

みんなの「ものさし」 吉村 達也

普通って何だろう？

あたり前って何だろう？

好き嫌いって何だろう？

考えてみると分からない

いろんな人が普通って使うよね

でも普通って人の考え方で変わるよね

自分の考え方の「ものさし」を

人に押し付けたいいけないよ

だってみんな違う

「ものさし」を持っているから

みんなの「ものさし」を

受け入れる

そんな人に僕はなりたいな

12月の月間目標

振り返る

令和3年度
チャレンジ目標

- 1 明るい挨拶
- 2 5分前行動
- 3 交通ルールを守る
- 4 1%を誰かのために

カレンダーが最後の一枚になりました。一年の計は元旦にありと言いますが、皆さんも今年の目標を立てたと思います。

目標が達成できた人もそうでない人も、大切なことは振り返ることです。

達成できた人は、なぜうまく行ったのか。達成できなかった人は、なぜ達成できなかったのか。

振り返りとは、「内省」とも言い換えられます。内省とは、これまでの自身の行いを思い返し、自分の内面を見つめ直すことで、思考や気持ちを整理することです。

また、過去の自分を後悔する、過去から学ぶといった意味もあります。

自分のとった行動や決断がどのような結果に結びついたのか見つめ、その原因を探し出し、次に同じような状況が起こった時の対策を立てることが大切です。

うまく行った人もそうでない人も、この経験を次の糧にして、前向きに捉えることです。それが振り返りです。

二十四節気

『大雪（たいせつ）』12月7日

山岳だけでなく、平野にも降雪のある時節ということから大雪といわれたものでしょう。本格的に雪が降り始めるころです。

このころになると九州地方でも初氷が張り、全国的に冬一色になります。スキー場がオープンしたり、熊が冬眠に入るのもこのころ。鱒（ぶり）など冬の魚の漁も盛んになります。

『冬至（とうじ）』12月22日。

太陽が軌道上の最も南に来るときで、夏至と反対に、夜が最も長く、昼が短い日。夏至から徐々に日照時間が減っていき、南中の高さも1年で最も低くなることから、太陽の力が一番衰える日と考えられてきました。

冬至は「日短きこと至る（きわまる）」という意味。中国では、この日から新年の始まる日とされ、先祖を祀る習俗がありました。

日本の行事・暦